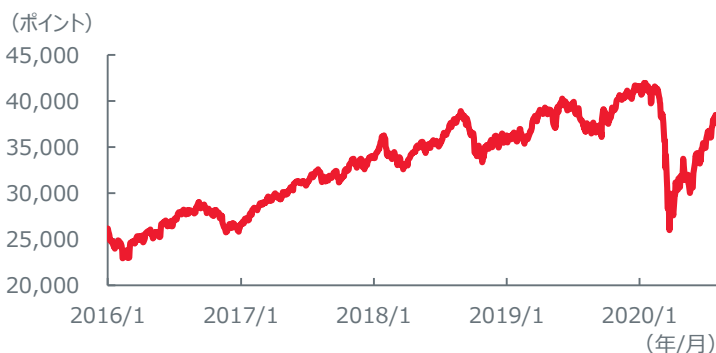


(対象期間：2020/7/27～2020/7/31)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2020年7月31日)

【株式市場】

週初は、前週末発表の民間銀行の4-6月期の決算が失望的と受け止められて銀行株中心にインド株式市場は下落しました。翌日は、一部の企業の決算を好感して買いが優勢となり、反発しました。29、30日は利益確定売りに押されて下落が続きました。31日は前日発表の4-6月期の米国の実質GDP（国内総生産）が大幅低下となったことなどからアジアの多くの株式市場が軟調となる中で、インド市場も下落し、週間でも下落となりました。

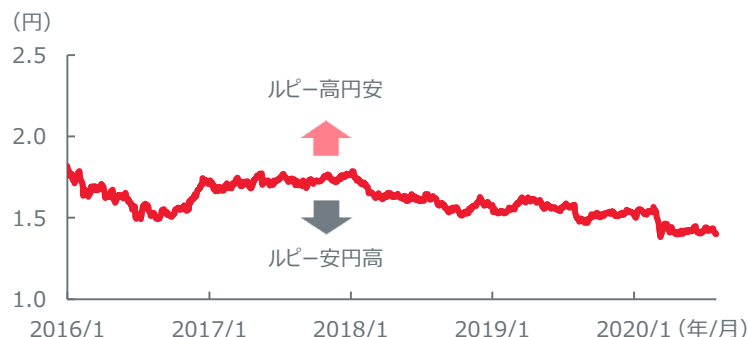
2020/7/24	2020/7/31	変化率
38,128.90	37,606.89	-1.37%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年7月31日)

【債券市場】

週初は、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が前週24日に新しいインド10年国債の指標銘柄の入札を行うと発表したことを受けて、10年国債を売る動きが出て利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、買い戻す動きが出たことから、28日から30日まで利回りは低下傾向となりました。31日は10年国債の入札が精彩を欠く内容だったことから利回りは上昇し、週間でも上昇となりました。

2020/7/24	2020/7/31	変化幅
5.825	5.838	+0.013

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年7月31日)

【為替市場】

米連邦公開市場委員会（FOMC）でハト派的な姿勢が示されるとの見方から、週前半に米ドル安となる中でルピーが対米ドルで上昇する場面もありましたが、その後インド株式市場の下落などを背景にルピーは弱含み、週間では対米ドルで小動きとなりました。一方、円が対米ドルで上昇したことから、ルピーは対円では下落しました。

2020/7/24	2020/7/31	変化率
1.422	1.399	-1.62%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。